

3-11. 東海自転車旅エコツーリズム協議会（愛知県名古屋市）

(1) アドバイザー派遣申請の背景

●地域の概要

愛知県の人口：7,434,557人 内名古屋市の人口：2,271,745人

愛知県は、日本列島のほぼ中央に位置し、古来の尾張と三河とを合わせた地域で、南は太平洋に面し、西は三重県、北は岐阜県、北東は長野県、東は静岡県と接している。県土は東西約106km、南北約94km、総面積は5,165km²（全国第27位）で国土の約1.4%を占める。西部は、木曾三川（木曾川、長良川、揖斐川）と庄内川によって作られた全国第2位の広さを持つ濃尾平野とその東側の尾張丘陵およびそれから連なる知多半島から形成されている。南部から南東部は矢作川によって作られた岡崎平野、豊川によって作られた豊橋平野および渥美半島から形成されている。北部から北東部は長野県から木曾山脈が南に延びて三河高原を形成し、標高1,415mの茶臼山を主峰とする山岳地帯で、標高1,000mを超える山も少なくない。渥美半島と知多半島の間には三河湾、また、知多半島と三重県の志摩半島との間には、北に向かって伊勢湾が深く入り込んでいるため、海岸線は長く596kmに達する。

名古屋市は濃尾平野の南に位置し、市域の南西部で伊勢湾に面している。面積326.45km²、世帯数1,013,411世帯、人口2,258,804人（2010年1月1日現在）の都市で、行政上は16の区からなっている。市域の東北端にあたる守山区の東谷山（198.3m）を最高点として、北東の丘陵地から南西の低地に向けて緩やかな勾配をもつ地形が続いている。地形は自然環境や土地の利用形態から、東部の丘陵地、中央部の台地、北・西・南部の低地の3つに区分される。東部の各区（守山・千種・名東・天白・緑区）は、標高50～100m程度のなだらかな丘陵が続いている。最近急速に宅地化が進んでいるが、まだあちこちに大規模な公園・緑地が散在しており、比較的自然度の高い地域である。市の中央部（中・東・昭和・瑞穂の各区と南・熱田区の一部）は、北から南にかけてなだらかに傾斜する標高10～15m程度の平坦な洪積台地になっており、古くから市街地が発達し、商業地・住宅地として栄えている。北部・西部・南部（北・西・中村・中川・港の各区と熱田・南区の一部）は、河川の堆積作用によってできた沖積低地で、特に庄内川の西側と北側にはまだ畑や水田が多く残っている。しかし市域の北・西部では、人口の増加と市街地化が進んでおり、南部の名古屋港付近は工業地帯となっている。

こうした地形や自然環境、土地の利用形態の違いがスズメバチの発生量にも大きな影響を与えており、東部丘陵地で多く、市街地から西部の低地にかけては極めて少なくなっている。



●アドバイザー派遣申請の背景・これまでの取り組み

当団体のある愛知県には、藤前干潟など生物多様性にとって重要な地域や、名古屋城をはじめとする歴史文化遺産が数多くある。また伊勢湾流域圏ということで、河川の上下流交流を通じて近隣県とも密接な関係にある。私も、この守るべき地元の自然環境や歴史遺産を、ツアーで体験することを通じて保全意識を高め次の世代に残していきたいと考えている。

しかしながら、一方でツアーを無造作に企画してしまうことは、観光地へ多くの車が乗り入れ、また多くの人が来ることで、結果的に貴重な自然環境や歴史遺産の破壊をしてしまうということもありえると認識している。その点、自転車を使ったツアーであれば、観光地への移動に伴う環境負荷は最小限ですむ。さらに、大型バスでのツアーには向かなくても、自転車ツアーに適した観光資源も多くあると思う。是非こうした自転車でしかいけない、自転車で行くからこそ良さが分かる。そして、今まで陽のあたらなかったところでも、観光スポットとなり、少しずつ地域経済が発展していく……。そんな取組みを少しずつでも進めて行ければ幸いと考えている。

(2) アドバイザー派遣の概要

| | |
|-------------|---|
| 日 時 | 平成 26 年 2 月 2 日 (日) ~平成 26 年 2 月 4 日 (火) |
| 場 所 | 名古屋市 (北区・西区・中区・千種区・熱田区・瑞穂区・中川区) |
| ア ド バ イ ザ ー | 株式会社南信州観光公社 代表取締役社長 高橋 充 氏 |
| 参 加 者 | 特定非営利団体市民・自転車フォーラム、名古屋市市民経済局文化観光部観光推進室、中部経済新聞社、株式会社ウェイトボックス、株式会社ゲルブランツ、エバイス株式会社 計 8 名 |
| スケジュール・方法 | 【1 日目】 ・市内視察 【2 日目】 ・セミナー |

(3) アドバイスの内容

2月3日に高橋先生、木村氏、芦葉氏、杉浦と名古屋市の主要地区の小さな名所旧跡を視察した。本来は自転車で廻れば先生にも雰囲気充分伝わったと思われるが、時間の関係で車で廻ることとした。とはいえ我々が事前に自転車にて廻って下調べをした箇所であり、自転車目線の視察になったと思われる。名古屋城や熱田神宮だけではなく今回は四軒道や七里の渡しなど有名ではない名所旧跡を廻り、最近メジャーな「名古屋めし」も堪能していただいた。

それを踏まえ2月4日は午前の部では高橋先生の飯田市でのエコツーリズムの取り組みをお話いただいた。飯田市で取り組まれているのは体験型観光という事であった。具体的には学習旅行(修学旅行)との事であった。学習旅行という考え方は私どものエコツアーには該当しないが、観光振興という事でいえば体験型観光というのはまさしく自転車を利用したエコツーリズムであり、飯田市の「和菓子探訪の旅」や「桜守の旅」など地域住民の方を上手く巻き込んだ観光ツアーのお話は私どもの自転車ツアーに取り入れたい事柄やヒントが沢山あった。

飯田市行政との関係も非常に深く、その点が私どもの今後の課題だとは思ったが、今回の講座には名古屋市市民経済局文化観光部観光推進室の月足氏も参加していただいたので、今後は名古屋市との連携も深く取って行き事業を展開していきたいと思う。

昼食も参加者の皆さんと高橋先生を囲み「名古屋めし」をほおぼりながら、エコツーリズムの中での自転車の可能性をざっくばらんに意見交換をさせていただいた。

午後からの部はわれわれの自転車エコツーリズムについてご意見をお聞かせいただいた。

高橋先生からは昨日の視察を踏まえてヒントをいただいた。

具体的なツアーのモデルコース（4時間コース・8時間コース）などの構築やツアーガイドブックにおける編集の仕方に関するアドバイスをいただいた。

一番具体的なアドバイスは、自転車 V.I.P ツアーの企画をしたらどうかとの事であった。

ガイドブックを見て行くだけのツアーではなく、名古屋街のコンシェルジュと行く自転車エコガイドツアーの企画で、外国人観光客にも需要はあるとの事であった。

告知方法も具体的に教えていただき、やはり行政との関係も大切だということがわかった。

コンシェルジュの育成だとか旅行会社の選定とかの問題はあるが、出来ない事ではないので今後具体的に計画して行くつもりである。

また、大阪での取り組みも紹介していただき、旅と食は一体だというお話で「名古屋めし」もツアーに取り入れたらどうかのご意見もいただいた。

高橋先生からは自転車ツアーの可能性はあるとのお墨付きをいただいたので、今後他の有識者の方のご意見もいただきながら、名古屋自転車エコツアーの事業化に取り組んでいきたいと考えている。

今回の「エコツーリズム推進アドバイザー派遣事業」で高橋先生のお話を聴く機会をいただいて、大変勉強になったと共に事業化へ明るいお話もいただけたので、会員の意気もあがりました。ありがとうございました。



(4) アドバイザー派遣実施の効果

●参加者や関係者に与えた効果

ただ漠然と自転車で名古屋市の名所旧跡を巡るツアーを企画し実行するだけでは、目新しさだけでの集客は見込める可能性はあるが、それだけではリーダーの育成にはつながらない。参加者は今回の高橋先生の講義を受けて、

ツアーの受け入れ側の学習や人材教育がエコツーリズムには必要不可欠だという事を充分理解したと感ずる。

●今後の期待される効果

高橋先生の方の講義を聴き、今後協議会で設定した方向性に従い既存の情報リソースを活用しながら、自転車旅に適した観光スポットの洗い出しを再度行う。

より地元密着な情報を地元の語り部がポタリングをしながらツアー客と廻るエコツアーでなければ今後の発展性も見込まれないと感じた。

また、名古屋には歴史ビジネスを地域で行っている株式会社コミュニティネット

(<http://www.communitynet.co.jp/>) という企業もあり、今後意見交換等も含めコラボレーションできれば歴史という観点では広がり期待できると思う。

●今後の取り組み

一般市民の方が自転車旅にどのようなことを求め、どういう条件であれば参加したいと思うかなどのアンケート調査を NPO 団体のイベントやホームページにて行い、エコツアーの企画に活かせるデータを把握したいと思う。

また、今後自転車ツアーとしてのルールやマニュアル類をベースに、高橋先生や地元の歴史関連の有識者の方々のご指導の元、エコツアーの要素を取り入れ、後日エコツアーを行う際に効果的に実施できるような資料を作成していきたいと思う。

高橋先生からご提案をいただいたツアー同行者のなものから、インタープリターとして十分通用する人材をどのように育成するかなどについて考えていく。

名古屋市市民経済局文化観光部観光推進室と連携して名古屋の自転車マップの作成をめざす。

また、PR 用のオリジナルグッズ（自転車お守り等）の企画も考えていきたい。

(5) アドバイザー派遣を実施して（地域からの声）

●参考となった事項

南信州観光公社様の取り組みの内、体験型ツアープログラムの内容は今後自転車のエコツアーに活かしていけると感じた。また南信州のエコツアーを支えていらっしゃるのが地元の人材である事が理解でき、また地元行政との深い結びつきがあるからこそエコツアーの継続が可能であると教わった。

●その他感想

南信州観光公社様では旅と食の結びつきも考えておられ、「和菓子探訪の旅」ツアーなどは、まさしく地元の方々と地元の物産を知ってもらうに最適なツアーであると思った。また、「桜守の旅」など、ツアーのネーミングにも素晴らしいものがあり、人を引きつける魅力になっていると感じた。

(6) エコツーリズム推進アドバイザーから地域へのアドバイス

株式会社南信州観光公社 代表取締役社長 高橋 充 氏

●地域におけるエコツーリズム推進の取組の現状と課題

タイム順で競う形ではない自転車レース大会の実施、道路開業イベントとの協業、歩道における歩行者とのシェアリング、自転車マップ作り等、多岐にわたる市民活動により、自転車の利便性や楽しさを伝え、地域振興にも貢献するなど、組織としてもエコツーリズム推進のための十分な素地がある。あとはエコツーリズムの具体的な実践を行なうことが必要であり、その可能性は充分にある。

●特に魅力を感じた地域の自然観光資源

広義の自然観光資源として、戦国から近代までの歴史や産業の遺跡遺構が随所にあり、自動車や徒歩では廻りにくいところを、自転車を活用することで効果的に楽しめる。

●アドバイス（講義等）の概要

名古屋市内の観光向けの自転車マップやガイドブックの造成为目標とのことであったが、更にその先を見据えた活動を期待するところもあり、先ず南信州でのガイド・案内人プログラムの取り組みについて紹介をした後で、主に下記の点について質疑応答も含めて助言をした。

- ・マップについては、裏面の観光名所の紹介の部分は、各施設の目を引く特徴を、上手くキャプションを付ける形で紹介することと、テーマ別でもエリア別でも、見た人がすんなりと観光に入りやすいような形に工夫することが望ましい。
- ・マップやガイドブックについては、従前の各種マップや刊行物の出来栄を見ても、良いものができることは予想されるので、是非、編集に携わった生粋の名古屋のおじさんたちが「スペシャル自転車ツーリングクルー」として、高価格高付加価値の「VIP 自転車ツーリング」を案内するといった取り組みも視野に入れると良い。費用は案内料として参加者1人につき、半日（4時間）で¥5,000～、1日（6時間）で¥10,000程度の少し高目の設定で、クルー1人で3～5名程度もしくは2名で7～8名を一単位での対応とする。旅行業法との絡みで、あくまでも案内に徹し、食事や入場については利用者が選択する様に組み立てる。OSAKA 旅メガネのツアー作りも参考になる。
- ・VIP 自転車ツーリングの発想は、前日の視察において、歴史、習俗、産業、風景、名古屋めし、食文化などについて、名古屋の人ならではの案内をして頂いたことで、それをそのまま企画として行なえば、満足度の高いものとなると確信したことによる。

●全体構想への取組状況・意向について

今年度の生物多様性保全推進交付金申請書の記載内容からもある程度伺えるが、各種自転車イベントの開催やガイドブック・マップ作りを地域住民や行政に協力を取りつけながら丹念に実施してきたことから、全体構想策定を目標とした場合は充分に対応できる組織である。ただ、具体的な自然観光資源の保護・育成という部分については特に対象があるわけではなく、現状は観光客にも使える自転車ツーリングマップ・ガイドの作製が第1目標であるので、自転車移動を前提とした旅そのものが環境への負荷を軽減させることを十分に意識した形で進めると良いのではないかと感じた。

●地域に対する印象、今後地域に期待すること（メッセージ）

自転車の持つ徒歩には無いスピードと、自動車には無い利便性を組み合わせ、高低差のあまりない名古屋市の地理的特性も相まって、広範囲にわたって細かく深く地域の魅力を味わえる自転車旅を体験できるマップやガイドブックづくりなどの取組をこのまま進めた上で、是非編集者たちがスペシャルクルーとなって、私達が直接案内しますというコンセプトで、VIP 自転車ツーリング企画を実現させて欲しい。その際、デザイン専門学校の学生が作ったウェアの貸し出しもあると楽しさが増す。市役所、企業の客人のもてなしの一つとしても、それが加えられることを期待する。参考までに、下記に今回の訪問を通じて特に魅力的と感じた素材を分野別に列挙する。

①産業

1. ノリタケ公園の煙突の云われ
2. トヨタ商会の建物
3. 問屋の案内

②歴史

4. 榎白山神社の信長の戦勝祈願
5. 白壁町・黒門町～町名の云われ
6. 四間道の屋根神様の云われ
7. 建中寺から徳川園にかけての徳川の権勢
8. 武家屋敷から近世の名家までの変遷
9. 美濃路の現在

③街並みと風景

10. 四間道の風情
11. 一本松古墳の美しい形
12. 名古屋城ビューポイント
13. 向野橋から見る路線区の佇まい&朝日と夕日、近代から現代の建築の縮図も見る
14. ガイドウェイバス～日本唯一のバス専用高架道路と世界最大のバス停

④名古屋めしの楽しみ方

- 15 & 16. ひつまぶしの蓬萊軒の待ち時間を楽しむ方法
 - ①熱田神宮の清水と信長堀
 - ②蓬萊軒本店から七里の渡し
17. コンパルのエビカツサンドと面白アイスコーヒー
18. あんかけスパの系統の違い
19. 名古屋人が愛する喫茶店と小倉トースト

⑤その他

20. 松重閘門に日本近代遺産を見る
21. 近代建築様式の見本～名古屋市役所
22. 都市計画再生と自転車専用道路